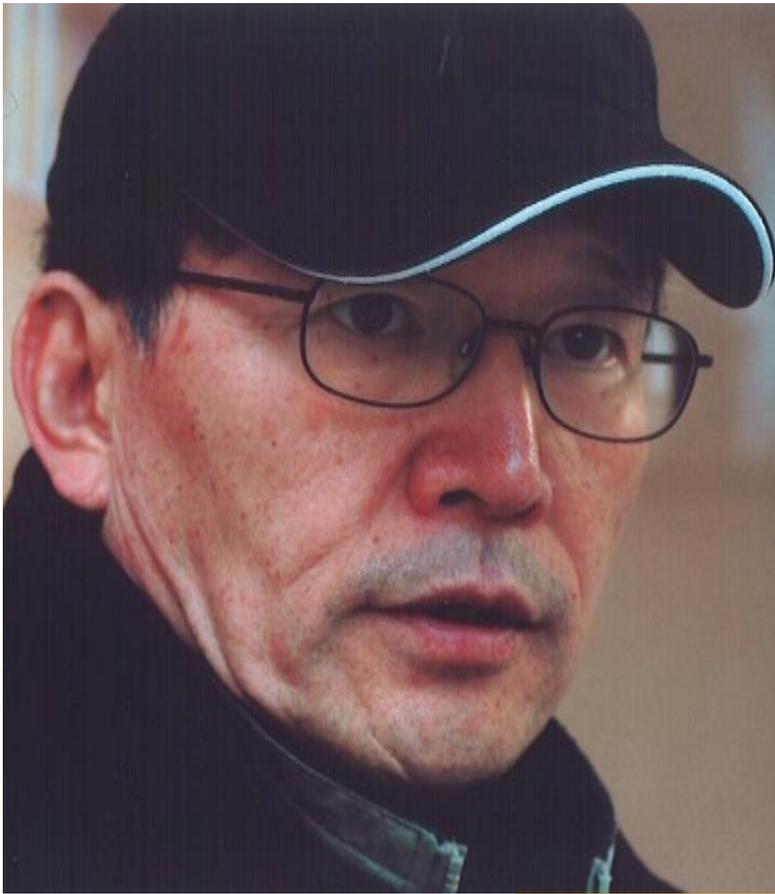


第48回 人権・憲法を考える

記念講演

作家 辺見 庸 先生



世界はいま一人の

“狂人”を必要としている

～「非武装宣言」としての

憲法第9条～

辺見 庸 (へんみ よう)

作家、1944年宮城県生まれ。早稲田大学文学部卒。70年共同通信社入社。北京特派員、ハノイ支局長などを経て、96年退社。78年中国報道で日本新聞協会賞を、91年「自動起床装置」(文芸春秋社、文春文庫)で芥川賞、94年「もの食う人びと」(共同通信社、角川文庫)で講談社ノンフィクション賞を受賞。他に「抵抗論」(毎日新聞社、講談社文庫)、「自分自身への審問」(毎日新聞社)など著書多数。

平和憲法制定にかかわった幣原喜重郎(元首相)は、第9条を「非武装宣言」と位置づけ、「要するに世界は今一人の狂人を必要としているということである。何人かが自ら買って出て狂人とならない限り、世界は軍拡競争の蟻地獄から抜け出すことができない。これは素晴らしい狂人である。」と語った。9条=非武装宣言・“狂人”発言の真意はなんだったか。そして、ついに「戦争法」施行にいたった現状の「狂気」について語りつくす。

日時 : 4月30日(土) PM 2時～4時

**場所 : 小田原お堀端コンベンションホール
(旧ナックビル5F)**

《 入場自由・無料 》

主催 第一マネジメントセンター TEL 0465(22)0221